



東 雲

秦野市立東小学校 令和3年3月3日発行



「6年生を送る会」ビデオレターにして感謝を伝えよう

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、変更を余儀なくされた児童会行事「6年生送る会」は、各学年からのビデオレター「的」な出し物を、各教室において大画面テレビで観ることとで実施いたしました。

3月1日(月)の2校時は、全校児童が各クラスの大画面テレビにくぎ付けになりました。児童会の子どもたちの進行で、1年生から順番にクラスごとに短いビデオレターが卒業する6年生に贈られました。

1年生「登校班のとき6年生は疲れなくて歩いていてすごいです」「ゆっくり歩いてくれてありがとうございます」など、そして「感謝の気持ちで校歌を贈ります」と歌のプレゼント。

2年生「6年生いつもありがとうございます」「6年生はたのしいです」「よろこびの歌を演奏します」など、画面いっぱいに感謝の気持ちがあふれていました。

3年生「鼓笛かっこよかったよ」「スマイル元気3年生スマイル元気6年生」など、息の合った言葉かけでした。3年生なりに、6年生の存在感をすごく実感しているなど思いました。

4年生「6年生に感謝の気持ちをこめて音楽会を…」と「もののけ姫」をリコーダーで演奏してくれました。体育館に一人ひとり離れて立ち、ステキな音色で立派な演奏でした。秋に音楽会ができなかった4年生が6年生だけでなく、全校児童にもこのビデオレターを通じて発表することができました。すばらしい演奏でした。

5年生「鼓笛の練習を支えてくれてありがとう」「委員会活動もお世話になりました。来年は自分たちががんばります…」など。この送る会を運営し、感謝の言葉を伝え、6年生から引き継がれた鼓笛の演奏を披露してくれました。5年生はこのほか鼓笛を教えてくれたペアの6年生に心のこもった手紙を送っています。1年生から5年生まで心温まる「贈りもの」となりました。

そして6年生「ステキなプレゼントをどうもありがとう。在校生のみなさんに感謝の気持ちをこめて演奏します」とクラスごとに合奏を披露し、「(コロナ禍において)私たちは限られた行事を一つ一つ大切にしてきました」「今までありがとう」と締めくくりました。

私たち教職員も、こうした子どもたちに助けてもらった、支えてもらった一年間でした。それぞれの学年で、年度末にむけて気持ちを新たに作る貴重な機会となりました。

地区児童会にて来年度にむけて登校班の引継ぎを

3月1日(月)5校時に、今年度の登校班での最後の集まり(地区児童会)を行いました。今年度の班のメンバーで班長さんや副班長さんにお礼をするとともに、今年度の登校班を振り返りました。大きな事故なく集団登校できたことは、自分たちの努力と、地域のみなさんの見守りのおかげです。毎朝、一緒に歩いてくださったり、横断歩道などに立ってくださったりしている方々に本当に感謝です。ありがとうございます。

さらに、来年度の登校班で集まり(一部の登校班でメンバーが変わります)、新しい並び方や安全な歩き方をみんなで確かめました。3月2日(火)からは、来年度の登校班で歩き始めています。卒業する6年生はうしろから見守りながらの登校です。新しい班長さん、副班長さんそして保護者の皆様、引き続き登校指導をよろしくお願いいたします。地域の方々のご協力と保護者の皆様のご理解ご協力により、安全な集団登校となるようお力添えをお願いいたします。